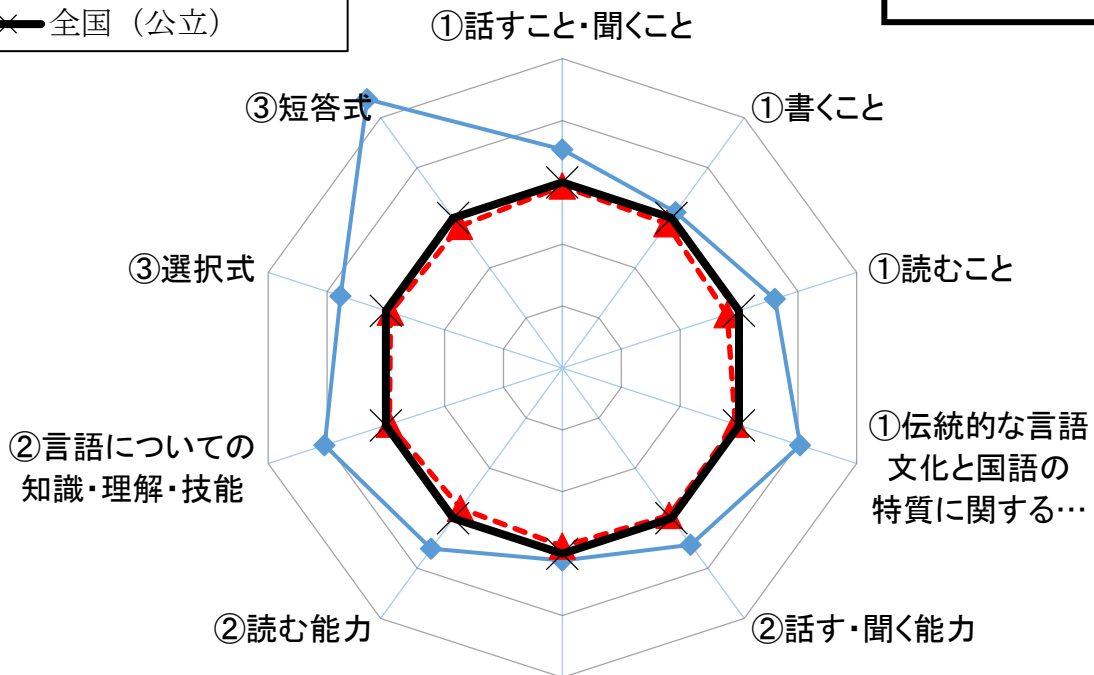
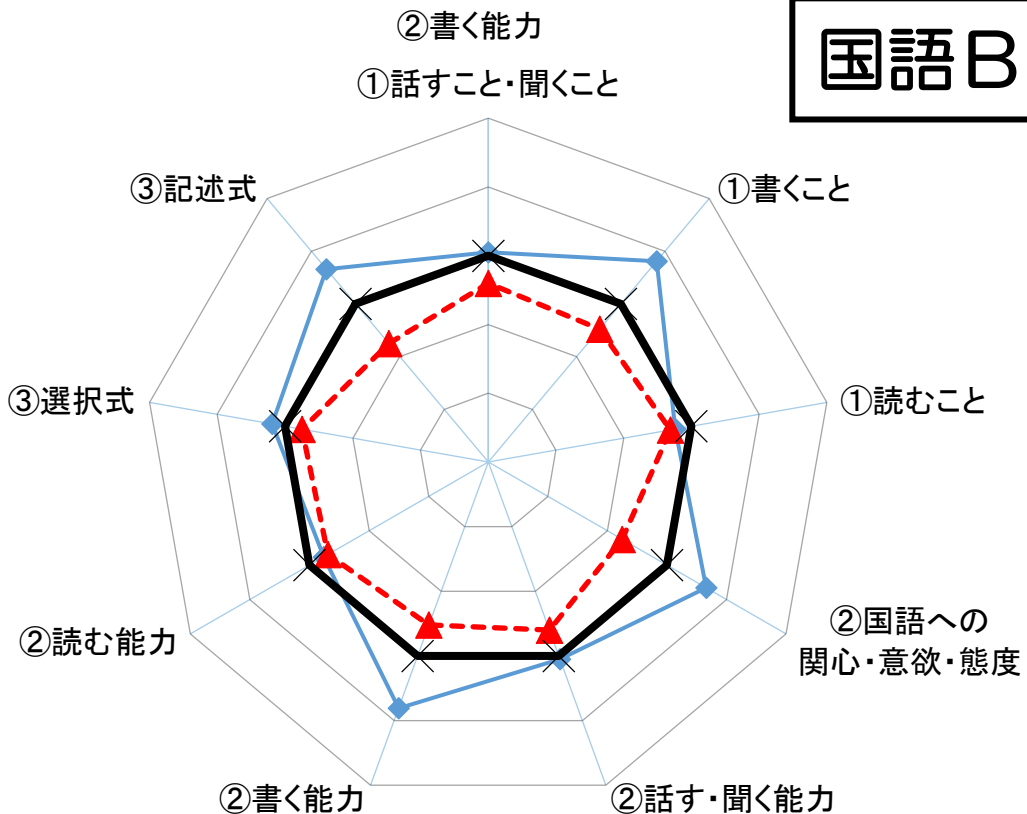


国語A

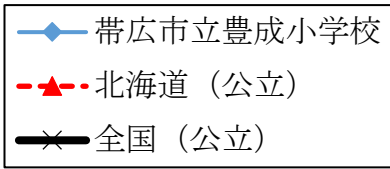


国語B

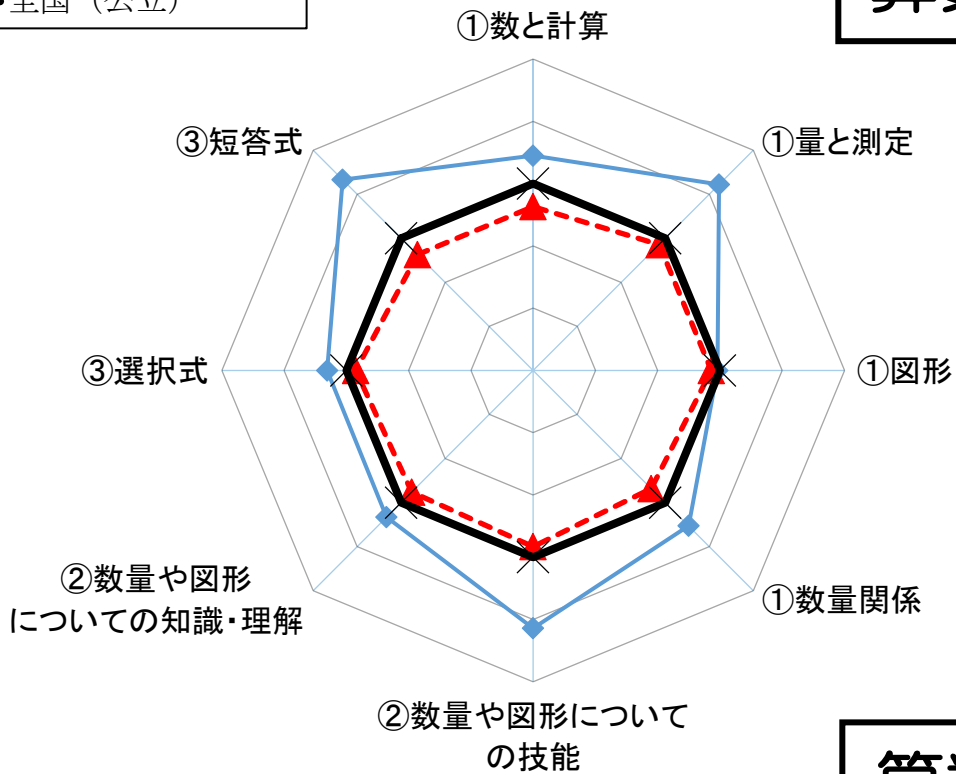


国語Aは、全項目において全国平均を大幅に上回っており、大変良好な結果と言える。校舎移転当初より取り組んできた「丸ごと読み」や「EXテスト」活用による成果が表れているものと思われる。また、保護者による朝の読み聞かせや学校支援地域本部事業「ソロリクラブ」による読書活動等、「言語」にふれる機会を多く設けていることも結果につながっている。

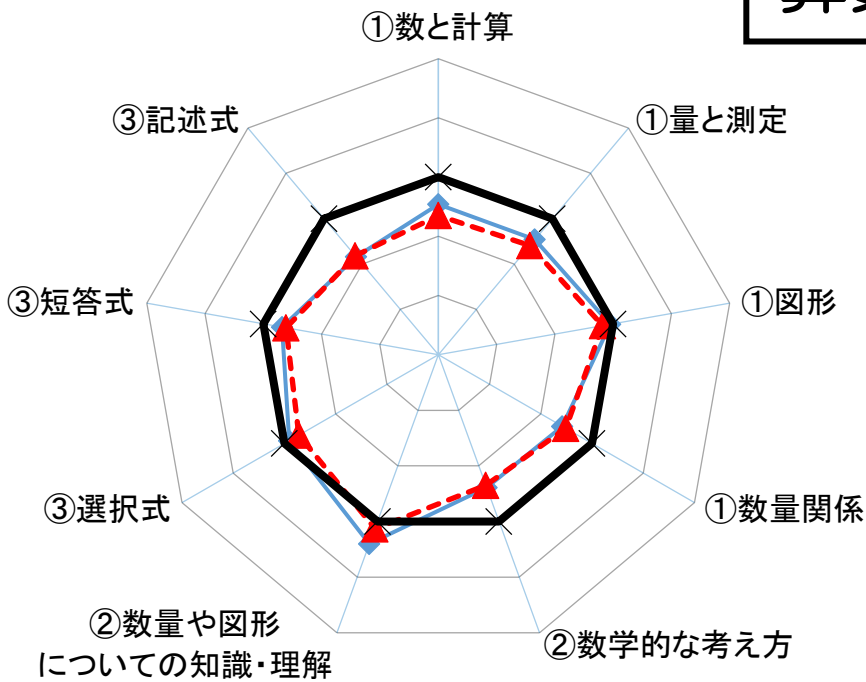
国語Bも比較的良い結果となったが、「読むこと・読む能力」においては、若干全国平均を下回る結果となった。「読む力」は付いてきているはずなので、慣れない問われ方に対応できるよう、学力テストやEXテストの解き直しを丁寧に行うことで、定着を図っていく。



算数A



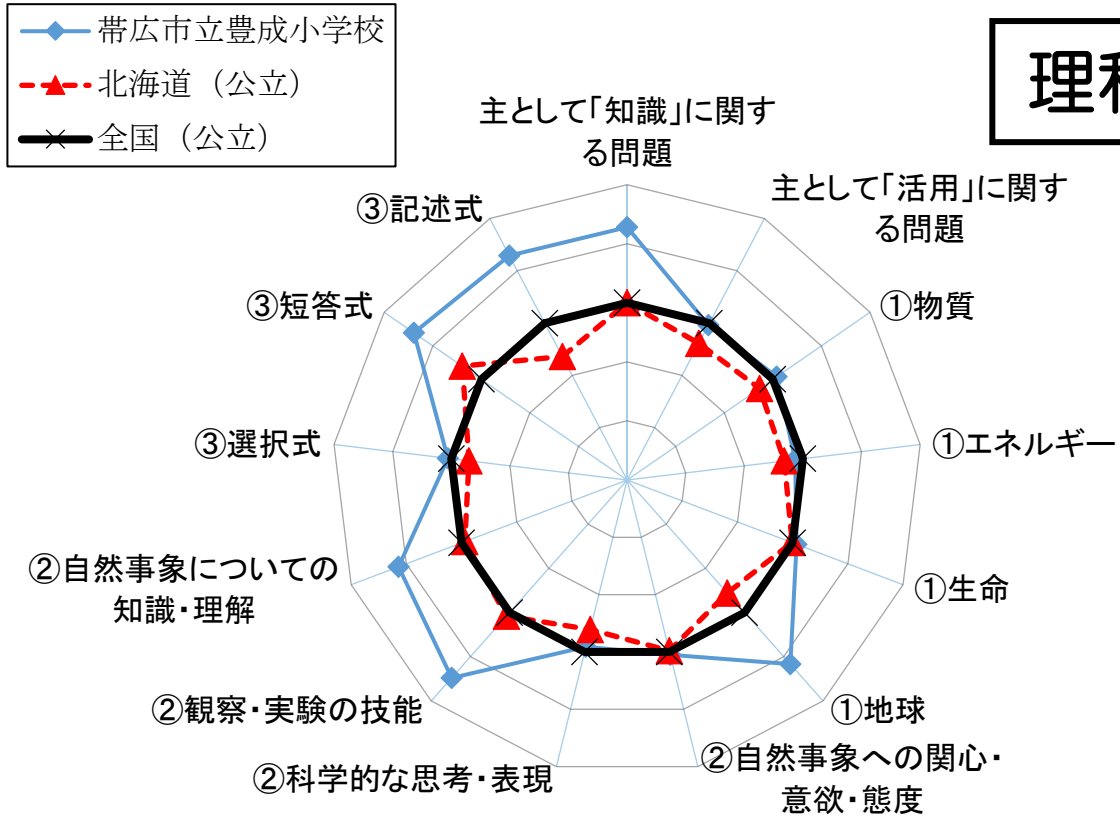
算数B



算数Aは、「図形」分野もほぼ全国平均並みとなり、TTや習熟度別少人数学習等の個に応じた指導の成果が表れているものと思われる。また、学習規律の統一と徹底に力を入れ、落ち着いた環境の中で学習に臨むことができているのも学力の定着に大きく影響している。

算数Bは、若干全国平均を下回る結果となった。特に「数学的な考え方」や「記述式」の項目が大きく落ち込んでいることが気に掛かる。個別指導での基礎学力は定着しつつあるので、今以上に自分の考えを述べたり、書いたりする機会を多く設け、根拠を明らかにしながら考えをまとめることができるよう指導を重ねていく。

理科



理科は、ほぼ全国平均並みか上回る結果となり、比較的良好だと言することができる。特に「観察・実験の技能」や「自然事象についての知識・理解」など、日常生活や経験を生かして考える分野においては、十分な学力の定着がうかがえる。理科専科による専門的な授業や地域の自然環境を存分に生かした教育課程の編成が、この成果に表れていると思われる。しかし、エネルギーや生命の分野に伸び悩みが見られることから、ICTを活用したり、具体物を用いたりして、よりイメージがしやすいように授業改善をしていく必要がある。